

教科	保健体育	科目	保健2	開講学期	後期	単位数	1	試験	後期
タイプ	I	レポート数	3	スクーリング必要時数		1	スクーリング実施時数		5

教科書(発行者)	現代高等保健体育 改訂版(大修館)
補助教材(発行者)	現代高校保健体育 学習書(NHK出版)

科目の目標	保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通して人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。		
	1 知識及び技能	2 思考、判断、表現等	3 学びに向かう力、人間性等
	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

評価の観点及びその趣旨	1 知識・技能	2 思考・判断・表現	3 主体的に学習に取り組む態度
	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めているとともに、技能を身に付けている。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断しているとともに、目的や状況に応じて他者に伝えている。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

単位認定	全レポートの合格、スクーリングの必要時数以上の出席及び定期試験合格(30点以上)で単位を認定する。
評価の方法	評価はレポート、スクーリング及び試験により総合的に行う。

学期	レポート	学習内容	スクーリング	試験
後期	第1回	オリエンテーション/ライフステージと健康、思春期と健康、性意識と性行動の選択、妊娠・出産と健康、避妊法と人工妊娠中絶、結婚生活と健康	第1・2回	後期
	第2回	中高年期と健康、働くことと健康、労働災害と健康、健康的な職業生活、大気汚染と健康、水質汚濁・土壌汚染と健康、環境と健康に関わる対策、ごみの処理と上下水道の整備	第3・4回	
	第3回	食品の安全性、食品衛生にかかわる活動、保健サービスとその活用、医療サービスとその活用、医薬品の制度とその活用、さまざまな保健活動や社会的対策、健康に関する環境づくりと社会参加	第5回	